環境アセスメント検定
挑戦編②
（正解・解説）

２０１９年　5月ver. 1.00

発行　環境アセスメント学会
http://www.jsia.net

環境アセスメント学会

Copyright (C) 2019 環境アセスメント学会 All Rights Reserved.

【正解】挑戦編②

問題	正解	解説・出典
問1	1	蒸発（高温冶金、溶剤、塗料など） 出典：大気環境・水環境・土壌環境・環境負荷　環境アセスメント技術ガイド、環境省、2017　（社）日本環境アセスメント協会　p71
問２	○	出典：大気環境・水環境・土壌環境・環境負荷　環境アセスメント技術ガイド、環境省、2017　（社）日本環境アセスメント協会　p6～13
問３	○	出典：大気環境・水環境・土壌環境・環境負荷　環境アセスメント技術ガイド、環境省、2017　（社）日本環境アセスメント協会　p69
問４	○	出典：大気環境・水環境・土壌環境・環境負荷　環境アセスメント技術ガイド、環境省、2017　（社）日本環境アセスメント協会　p68
問５	3	トルエンは塗装工程または印刷工程を有する事業所から発生 出典　大気環境・水環境・土壌環境・環境負荷　環境アセスメント技術ガイド、環境省、2017　（社）日本環境アセスメント協会　p100～103

問題	正解	解説・出典
問６	4	想定下限が高く、測定自体が困難である。機器分析の短所 出典　大気環境・水環境・土壌環境・環境負荷　環境アセスメント技術ガイド、環境省、2017　（社）日本環境アセスメント協会　p100～103
問７	○	出典：大気環境・水環境・土壌環境・環境負荷　環境アセスメント技術ガイド、環境省、2017　（社）日本環境アセスメント協会p161～162
問８	○	出典：大気環境・水環境・土壌環境・環境負荷　環境アセスメント技術ガイド、環境省、2017　（社）日本環境アセスメント協会　p163～64
問９	○	出典：大気環境・水環境・土壌環境・環境負荷　環境アセスメント技術ガイド、環境省、2017　（社）日本環境アセスメント協会　p6～13
問10	○	出典：環境省技術ガイド
問11	×	工場・事業場振動、建設作業振動及び道路交通振動の環境保全措置は、例として、防振溝、道路構造の打替とかがあります。

【正解】挑戦編②

問題	正解	解説・出典
問12	○	参考：東京都環境影響評価技術指針
問13	○	出典：平成１８年度　環境アセスメント実務研修会　テキストI　生活環境
問14	○	風の予測を実施する際に、周辺建物の中高層建築物に関する概略の形状や高さが必要となる。また、配慮が必要と考えられる公園や、教育施設などの位置などを確認し、整理することも重要である。
問15	×	大規模建築物等と計画建築物との相互作用として、調査すべき風害の項目は、その形状、高さ、大きさ及び位置関係がある 出典：平成１８年度　環境アセスメント実務研修会　テキストI　生活環境 P１　P１２～１３
問16	○	風環境の評価指標が年間における風速の発生頻度であることから、事後調査を行う場合、現地調査の期間は１年間実施することが一般的である。

問題	正解	解説・出典
問17	1	出典：建設工事から生ずる廃棄物の適正処理について一環境省 https://www.env.go.jp/hourei/add/k035.pdf 環廃産第110329004号　平成23年3月30日 建設工事から生ずる廃棄物の適正処理について(通知) P13　図2-1　建設廃棄物の種類(例) 含水率が高く微細な泥状の掘削物 掘削物を標準ダンプトラックに山積みできず、またその上を人が歩けない状態（コーン指数がおおむね２００kN／㎡以下または一軸圧縮強度がおおむね５０kN／㎡以下） 具体的には場所打杭工法・泥水シールド工法等で生ずる廃泥水　注）未指定：ペレット
問18	3	原料在庫量は廃棄物発生量と関係していない
問19	○	出典　大気環境・水環境・土壌環境・環境負荷　環境アセスメント技術ガイド、環境省、2017　（社）日本環境アセスメント協会　p14～15
問20	○	出典　EICネット
問21	3,11	3.　沿岸海域地形図　――　国土地理院 11.　森林基本図　――　林野庁 出典：研修テキスト　自然環境　19年９月 日本環境アセスメント協会

【正解】挑戦編②

問題	正解	解説・出典
問22	○	出典：生物の多様性・自然との触れ合い、環境省　2017，P30~32
問23	○	出典：生物の多様性・自然との触れ合い、環境省　2017，P30~32
問24	○	出典：生物の多様性・自然との触れ合い、環境省　2017，P33
問25	○	出典：生物の多様性・自然との触れ合い、環境省　2017，P33
問26	×	脆弱な自然環境でなくて、地域を特徴づける重要な自然環境である 出典：生物の多様性・自然との触れ合い、環境省　2017，P33
問27	7	地点の決定は、人数で決定するものではない 出典：生物の多様性・自然との触れ合い、環境省　2017，P45
問28	○	出典：生物の多様性・自然との触れ合い、環境省　2017，P47～51
問29	×	ツバメは上位ではない 出典：平成19年度実務研修会テキストⅡ/自然環境，6章p21-24. 環境アセスメント技術ガイド　生態系，（財）自然環境研究センター　ｐ33-36

問題	正解	解説・出典
問30	○	出典：平成19年度実務研修会テキストⅡ/自然環境，6章p21-24. 環境アセスメント技術ガイド　生態系，（財）自然環境研究センター　ｐ33-36
問31	○	出典：平成19年度実務研修会テキストⅡ/自然環境，6章p21-24. 環境アセスメント技術ガイド　生態系，（財）自然環境研究センター　ｐ33-36
問32	○	出展：（環境アセスメント士、2007年度） 環境アセスメント技術ガイド 生態系（生物の多様性分野の環境影響評価技術検討編2002）自然環境研究ｾﾝﾀｰ
問33	○	出典：平成19年度実務研修会テキストⅡ/自然環境，4章ｐ18-22，5章ｐ9-30
問34	○	出典：EICネット用語辞典
問35	×	出典：EICネット用語辞典
問36	3	解説：山・川・海でなくて、「森・里・川・海のつながりを確保する」 出典：環境省ホームページ
問37	○	出典：生物多様性・自然との触れ合い、環境省　2017、p10~11
問38	○	出典：生物多様性・自然との触れ合い、環境省　2017、p10~11

【正解】挑戦編②

問題	正解	解説・出典
問39	○	出典：環境アセスメント技術ガイド　生態系、P21
問40	×	生食連鎖、腐食連鎖が逆 出典：生物の多様性・自然との触れ合い、環境省　2017、p7
問41	○	出典：生物の多様性・自然との触れ合い、環境省　2017、p８
問42	○	出典：EICネット用語辞典
問43	○	出典：EICネット用語辞典
問44	○	解説：里地里山の中核を成す二次林についての各タイプの自然環境特性 出典：環境省、日本の里地里山の調査・分析について（中間報告） 出典： EICネット
問45	○	出典：海洋生態系調査マニュアル、用語集（社）海洋調査会
問46	1	出典：国交省ホームページ 第3編　第4章 解説：現代の都市公園においても、そこを訪れ、集い、憩う人々にとってよりよい空間であることが公園の価値の本質であり、良好な景観形成は都市公園事業の本来の目的である。

問題	正解	解説・出典
問47	○	出典：国交省ホームページ、技術ガイド「景観」p.17、p.18、国交省ホームページ
問48	×	出典：環境影響評価情報支援ネットワーク自然との触れ合い分野の環境影響評価技術（Ⅰ）　スコーピングの進め方について(平成11年6月) https://www.env.go.jp/policy/assess/4-1report/02_sizen/1/chap4-2.html 解説：自然環境保全法（昭和47年）　目的：自然公園法その他の自然環境の保全を目的とする法律と相まって、自然環境を保全することが特に必要な区域等の自然環境の適正な保全を総合的に推進することにより、広く国民が自然環境の恵沢を享受するとともに、将来の国民にこれを継承できるようにし、もって現在及び将来の国民の文化的な生活の確保に寄与すること。
問49	○	出典：環境省ホームページ
問50	○	法に基づく指定地域の周辺地域についても、指定理由となった地形・地質が分布する場合には、それらを含めて重要な地形・地質として扱うことが適当である。（「自然環境のアセスメント技術（１）」(環境庁企画調整局，平成11年9月)